

国立大学法人兵庫教育大学

学 報

第394号 平成26年 8 月



オープンキャンパス2014の開催（関連記事6ページ）



特別支援教育モデル研究開発室“Cafe LiaisonⅢ”の開催
（関連記事5ページ）



みんなの声かけ運動応援協定の締結（関連記事8ページ）

目 次

- ◇平成27年度兵庫教育大学学校教育学部入学者
選抜要項について 2
- ◇人 事 4
 - ・ 人事異動
- ◇諸 報 4
 - ・ 国立大学法人兵庫教育大学役員会
 - ・ 国立大学法人兵庫教育大学教育研究評議会
 - ・ 兵庫教育大学大学院学校教育研究科・学校教育
教育学部教授会
 - ・ 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科代
議委員会
 - ・ 特別支援教育モデル研究開発室“Cafe Liaison
Ⅲ”の開催
 - ・ シンポジウム「子育て支援の社会化～地域社
会連携における大学の役割～」の開催

- ・ オープンキャンパス2014の開催
- ・ 附属小学校臨海合宿の実施
- ・ ハラスメント防止研修の実施
- ・ 平成26年度「理論と実践の融合」に関する共
同研究活動ポスターセッション（ディスカッ
ション）の開催
- ・ 小野市との連携による地域連携推進事業「理
科&科学の地域でのサイエンス祭」の開催
- ・ 大学・高等学校教育研究懇談会の開催
- ・ みんなの声かけ運動応援協定の締結
- ・ 平成26年度「兵庫教育大学と兵庫教育大学大
学院同窓会との共同研究」の採択
- ◇主要日誌9

－平成27年度兵庫教育大学学校教育学部入学者選抜要項について－

平成26年 7 月 7 日（月）に公表した入学者選抜要項の概要は次のとおりである。

1 募集人員 160人

(内訳)	一般入試	前期日程	80人
	〃	後期日程	22人
	推薦入試		58人
	私費外国人留学生特別入試		若干人

2 出願資格

前期日程 後期日程	<p>①高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成27年3月卒業見込みの物等</p> <p>②平成27年度大学入試センター試験の5教科7科目、5教科8科目、6教科7科目又は6教科8科目を受験した者</p>
推薦入試	<p>①高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成27年3月卒業見込みの者等</p> <p>②平成27年度大学入試センター試験の5教科5科目又は5教科6科目を受験した者</p> <p>また、推薦要件として</p> <p>①出身学校長が、初等教育教員となるにふさわしい資質、適性、意欲等を有する者として、責任をもって推薦するもの</p> <p>②学習成績の全体の評定平均値が3.5以上の者</p> <p>③合格した場合は、入学することを確約できる者</p>
私費外国人留学生	<p>①日本の国籍を有しない者で、外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成27年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したものと等</p> <p>(注)日本の国籍を有しない者であっても日本の高等学校及び中等教育学校を卒業した者又は卒業見込みの者は、一般の入学者と同様扱いになり、この入試に出願することはできません。</p> <p>②独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成26年度日本留学試験（第1回、第2回のいずれか）において以下に指定する教科・科目を受験し、日本語の「読解」及び「聴解・聴読解」の合計得点が400点満点中250点以上、かつ、「理科及び数学」又は「総合科目及び数学」の得点が400点満点中240点以上である者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語 ・理科又は総合科目のいずれか ・数学

3 試験関係日程

選抜方法	出願期間	試験日程	合格発表
推薦入試	平成26年 12月12日（金） ～12月19日（金）	平成27年 1月27日（火）	平成27年 2月11日（水）
私費外国人留学生	平成26年 12月19日（金） ～12月26日（金）		
前期日程	平成27年 1月26日（月） ～2月4日（水）	平成27年 2月25日（水） ・26日（木）	平成27年 3月6日（金）
後期日程		平成27年 3月12日（木）	平成27年 3月20日（金）

4 試験科目

前期日程	・小論文（2種類） ・実技検査（音楽，美術，体育）
後期日程	・面接（口頭試問・実技を含む）
推薦入試	・面接
私費外国人留学生	・面接

— 人 事 —

○人事異動

1. 大学教員等

(1) 転出

平成26年 7 月 25 日付

元 職	氏 名	備 考
教授 (学校経営コース)	御 厩 祐 司	文部科学省研究振興局ライフサイエンス課 幹細胞・再生医学研究推進室長

2. 事務職員

(1) 採用

平成26年 8 月 1 日付

職 名 等	氏 名	備 考
教材文化資料館研究補佐員	木 下 香 織	

— 諸 報 —

○国立大学法人兵庫教育大学役員会

第 5 回 平成26年 7 月 9 日 (水)

(議題)

- 1 平成26年度学内予算による教育研究用設備
要求について

第 6 回 平成26年 7 月 18 日 (金)

(議題)

- 1 平成27年度概算要求事項について

○国立大学法人兵庫教育大学教育研究評議会

第 4 回 平成26年 7 月 9 日 (水)

(議題)

- 1 教員の選考について
- 2 教員の選考開始について
- 3 学生の懲戒処分について

○兵庫教育大学大学院学校教育研究科・学校教育学部教授会

第 4 回 平成26年 7 月 9 日 (水)

(議題)

- 1 学位論文審査委員会の設置について
- 2 平成26年度授業科目担当教員の変更等につ
いて
- 3 学生の学籍異動について
- 4 国費外国人留学生の受入れについて
- 5 特別聴講学生の受入れについて

○兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科代議委員会

第 3 回 平成26年 7 月 2 日 (水)

(議題)

- 1 研究科教員資格審査委員会の設置について
- 2 課程修了による博士の学位論文の受理及び
学位論文審査委員会の設置について
- 3 論文提出による博士の学位論文の受理及び
学位論文審査委員会の設置について
- 4 博士候補認定試験の実施について
- 5 平成27年度学生募集要項について

○特別支援教育モデル研究開発室“Cafe LiaisonⅢ”の開催

7月15日（火）、附属図書館ライブラリーホールにおいて、“Cafe LiaisonⅢ”を開催した。

Cafe Liaisonは、対話を通して気づき・ひらめき・アイデアが生まれることによって特別支援教育や学校教育の理解が深まり発展していくものと考え企画・開催しているものである。

昨年度に引き続き3回目となる今回は、文部科学省が進めるインクルーシブ教育システム構築事業について理解を深めようという趣旨で、「こう進めたい！学校現場のインクルーシブ教育システム」と題し、特別支援教育モデル研究開発室室長の宇野宏幸教授の挨拶の後、前文部科学省特別支援教育調査官である特別支援教育コーディネーターコースの樋口一宗教授と前小野市教育委員会学校教育課長である授業実践開発コースの大西義則教授とが、国と市町村それぞれの立場から意見を述べあった。

樋口教授からは、国の立場から見たインクルーシブ教育の理念と支援の仕組みについて、基準となる法律を提示しながら説明があり、大西教授からは、インクルーシブ教育を実現する上で市町村や現場が抱えている疑問が提示される対談となった。広く地域を跨いだ連携が必要とされながらも、人事や予算の問題で、都道府県と市町村の連携が難しいという現実的な課題があげられた。その中で各自自治体での具体的な事例なども紹介しつつ、市町村が抱える問題の解決方略について提案があった。

当日は、本学学部生、大学院生のほか、大学関係者や地域の教育関係者など、約50人の参加がありインクルーシブ教育への関心の高さがうかがわれた。



○シンポジウム「子育て支援の社会化～地域社会連携における大学の役割～」の開催

7月19日（土）、神戸ハーバーランドキャンパス兵教ホールにおいて、シンポジウム「子育て支援の社会化～地域社会連携における大学の役割～」を開催した。

本シンポジウムは、文部科学省の特別経費を受け、平成26年度から開始した「大学の機能強化としての就学前教育専門職（仮称）養成の高度化と幼小連携を含めた総合的カリキュラム開発」の取り組みの一環として開催したもので、子育て支援センターや子育て支援ルームを開設している兵庫県下の大学において、その運営に携わる教員を招き、子育て支援を中心とした地域社会連携における大学の役割について考えることを目的として開催したものである。

シンポジウムでは、本事業の実施組織である就学前教育カリキュラム研究開発室室長の名須川知子教授から趣旨説明と登壇者の紹介が行われた後、関西国際大学の濱田格子氏、夙川学院短期大学の井上千晶氏、神戸常盤大学の上月素子氏から、各大学における取組報告が行われ、続いて神戸大学大学院の伊藤篤氏から、子育て支援を大学が実践することの意義について研究面・教育面・地域貢献面から述べられ、最後に名須川教授による総括が行われて閉会した。

当日は、大学教員、幼稚園教員、保育園保育士等約50人が参加し、各大学の子育て支援の取り組みの発表等に熱心に耳を傾けていた。



○オープンキャンパス2014の開催

7月20日（日）、加東キャンパスにおいて、高校生・保護者等を対象としたオープンキャンパスを開催した。当日は1,433人の来場者があり、2回開かれた全体会の会場は、立ち見が出るほどの盛況であった。なお、今年度は新企画として本学在生によるキャンパスツアーを行い、在生学生の視点からキャンパスの魅力を紹介した。全体会では、加治佐哲也学長の挨拶及び福本謹一理事・副学長の大学概要の説明、在生学生の体験談の後、平成27年度入試についての説明が行われ、参加者は熱心に聞き入った。

また、併行して在生学生・教職員による個別相談コーナーや在生学生による入試体験談、各コース（分野）によるイベントや、図書館や学生寄宿舍等の施設見学、クラブ紹介・公開練習などが自然環境豊かな40万㎡の広大なキャンパスで行われ、終始活況の中、好評のうちに幕を閉じた。



○附属小学校臨海合宿の実施

7月21日（月）～23日（水）の3日間、日本海に面した兵庫県新温泉町諸寄海岸において、附属小学校6年生の臨海合宿を実施した。

この臨海合宿は、6年生児童全員と全教員が一体となって大遠泳に挑戦する、本校ならではの特別活動である。あわせて、6年間の本校体育科水泳学習の最終目標に位置づけられており、今年で25回目を数える。この臨海合宿へ向けて、児童は水泳の授業以外にも、業前ランニングや放課後水泳を行った。また、教員も、児童が下校したあと、プールで隊列

を組み水泳訓練を行い、子どもたちの命を守るための泳力はもちろん、指導力の向上を図った。

今年度は、天候や気温にも恵まれ絶好の遠泳日和の中、体調を崩す児童も少なく、最終日には水泳訓練に参加した児童全員が、850mの大遠泳に挑戦し見事完泳することができた。児童と教員が一体となり、臨海合宿をやり遂げた感動を味わった。

3日間の臨海合宿を通して、子どもたちは精神的にも身体的にも成長し、新たな自分を発見することができた。



○ハラスメント防止研修の実施

7月24日（木）、共通講義棟106教室において、株式会社フォーブレイン代表取締役で人事・労務コンサルタントの棚瀬朗太先生を招いてハラスメント防止研修を実施した。この研修は、ハラスメントに関する正しい知識を身につけ、その防止の重要性に対する理解をより一層深めることを目的としたもので、教職員約170人が参加した。

講演では、「ハラスメントのない大学を目指して」をテーマとして、過去に起こった大学におけるハラスメントの事例を交えながらパワー・ハラスメントやアカデミック・ハラスメントといった各種ハラスメントの概要や、具体的な対策について説明が行われた。

参加者からは、「改めてハラスメントについて意識する機会を持てたことは、自分の理解を整理する上で非常に良かった」「ハラスメントが多様化していることがよく理解できた。誰でも被害者・加害者になる可能性があるので日ごろのコミュニケーションを大事にしていきたい」などの感想が述べられた。



○平成26年度「理論と実践の融合」に関する共同研究活動ポスターセッション（ディスカッション）の開催

7月24日（木）、附属図書館1階パオにおいて、平成26年度「理論と実践の融合」に関する共同研究活動ポスターセッション（ディスカッション）を開催した。

前半は、教育内容・方法開発専攻の堀江祐爾教授、附属中学校の成瀬雅巳教諭から「思考力・判断力・表現力を育成するために言語活動を取り入れた効果的な指導方法の研究」について、後半は、教育実践高度化専攻の谷田増幸教授から「高等学校『在り方生き方教育』における教育課程と指導方法等の改善・充実に関する研究」について、研究内容の説明が行われた。また、説明後には、参加者からの質問もあり自由な雰囲気での議論が行われた。



○小野市との連携による地域連携推進事業「理科&科学の地域でのサイエンス祭」の開催

7月25日（金）～28日（月）の4日間、小野市うるおい交流館エクラにおいて、小野市と兵庫教育大学の地域連携推進事業「理科&科学の地域でのサイエンス祭」を開催した。

本事業は、学校の理科の授業ではじっくり触れることのできないような実験機器を用意し、子どもたちが自主的に科学実験を楽しみ、感動体験を持つ環境を創り出すことで、理科好きの子どもたちを増やし、科学への興味・関心を育むことを目的として、平成22年度から開催している。

5年目となる本年は、小野高等学校、小野工業高等学校、小野市教育委員会による展示や、「実験・体験・観察・ものづくり」の4つのコーナーを設け、本学学生、大学院修了生や教員とともに、様々な科学の不思議を体験した。

また、本学附属小学校の教員による実験ショー等や附属中学校の教員及び科学部の生徒による、ものづくりブースも多くの参加者で賑わい、4日間で延べ1,490人もの子どもやその保護者らが詰めかけた。



○大学・高等学校教育研究懇談会の開催

7月28日（月）、総合研究棟大会議室において、兵庫県立高等学校長協会からの依頼に基づき、大学・高等学校教育研究懇談会を開催した。高等学校側は兵庫県教育委員会指導主事、県立高等学校の校長、進路指導部長等41人、本学側は加治佐哲也学長以下13人が出席し、本学の教育研究に係る取り組み状況や入学者選抜方法、教員採用試験等について、活発な意見交換が行われた。



○みんなの声かけ運動応援協定の締結

7月30日（水）、兵庫県公館において、「みんなの声かけ運動応援協定締結式」が行われ、本学も兵庫県と締結を行った。

締結式には、井筒紳一郎広報・社会連携担当理事（学長代理）が出席し、井戸敏三兵庫県知事から協定書が手渡された。兵庫県では、だれもが地域社会の一員として支え合う中で、安心して暮らし、元気に活動できる「ユニバーサル社会」の実現を目指している。その一環として、障害のある方、高齢の方、妊婦中の方をはじめ、街中で困っている方に声をかけて助け合う「みんなの声かけ運動」を県民運動として展開している。

今後、本学においても様々な活動で周知、実践を行う予定である。



○平成26年度「兵庫教育大学と兵庫教育大学大学院同窓会との共同研究」の採択


本共同研究は、大学院同窓会員と大学教員とが共同して行う研究であり、学校現場の課題解決や大学の実践的な教育研究の進展への寄与が期待されている。

今年度は13件の申請があり、都道府県連携推進本部会議において研究の内容や計画など多角的に審査した結果、11件を採択した。当該研究には、大学から研究経費の一部が補助される。

なお、研究成果は共同研究論文集「学校教育コミュニティ」として公表するとともに、附属図書館「学術情報リポジトリ」にも登録する。

－ 7 月 主 要 日 誌 －

月 日	事 項
7月2日(水)	連合学校教育学研究科代議委員会(第3回) 附属幼稚園4・5歳児と附属中学3年生との交流
3日(木)	国際交流センター運営会議(第2回) 附属学校園学校評議員の会(第1回)
4日(金)	附属学校運営委員会(第1回)
5日(土)	公開講座「ピアノを弾こう！」 西脇市との連携講座「子育て・躰をことばから」 
6日(日)	(公財)兵庫県生きがい創造協会との連携講座『「生きる力」を育む生活習慣』 
9日(水)	役員会(第5回) 教育研究評議会(第4回) 研究科・学部教授会(第4回)
11日(金)	附属幼稚園わくわくキャンプ
15日(火)	特別支援教育モデル研究開発室 “Cafe LiaisonⅢ”
16日(水)	企画運営会議(第3回)
17日(木)	学校給食運営連絡会
18日(金)	役員会(第6回)
19日(土)	シンポジウム「子育て支援の社会化～地域社会連携における大学の役割～」 公開講座「ピアノを弾こう！」
20日(日)	オープンキャンパス2014
21日(月)	附属小学校臨海合宿(～23日)
24日(木)	全学教職員会議(第2回) ハラスメント防止研修

25日(金)	平成26年度「理論と実践の融合」に関する共同研究活動ポスターセッション(ディスカッション) ファカルティ・ディベロップメント推進委員会(第3回) 小野市との連携による地域連携推進事業「理科&科学の地域でのサイエンス祭」(～28日) 研修講座「自然を表すことばであそぶ」
26日(土)	公開講座「アクアスポーツ&水あそび教室」 
27日(日)	免許状更新講習(7月開催分)(～27日)
28日(月)	大学・高等学校教育研究懇談会 小野市との連携講座「ロボットのしくみと制御」
30日(水)	大学・高等学校教育研究懇談会 附属図書館運営委員会(第2回) 大学院学校教育研究科入試委員会(第4回) 学生委員会(第4回) みんなの声かけ運動応援協定締結式

編集発行 **兵庫教育大学総務部総務課**

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1

電 話 (0795) 44-2431

<http://www.hyogo-u.ac.jp/>